

規模地震に備えて

9月2日(土)

大規模地震を想定し、防災体制の更なる強化及び住民の防災意識の向上を図ることを目的に、市総合防災訓練が、庄内川水防センター及び庄内川河川敷で行われました。

訓練には、市民の方々をはじめ市消防 団員、西春日井広域事務組合消防本部 の隊員ら約800名が参加し、倒壊家屋、 被災車両からの救出訓練、市内の中学 校や新川高校の生徒が参加した避難 所運営(HUG)訓練、トリアージ訓練や 炊き出し訓練などを行いました。





んなの手で美しい水辺環境の保全を

9月3日(日)

約2,000名の市民の方々が参加して、市内を流れる新川、五条川及び庄内川沿いを中心に、河川環境 美化活動が行われました。

参加者は、河川沿いの花壇や堤防の草取りやごみ拾いなど、水辺環境の保全に取組んでいました。 また、そのほかの地区でも公園周辺等の清掃活動もあわせて行われました。







るたで学ぼう水防を

9月6日(水)

県が推進する「みずから守るプログラム」の一環として、西枇杷 島地区の住民や西枇杷島中学校の生徒の協力により、災害の歴 史や教訓を語り継ぐために「水防かるた」が作成されました。

まず、防災意識を高めようと西枇杷島地区でかるたの読み句の募 集を行ったところ、合計1,550件の応募がありました。その中から46句 の読み札を選定し、それぞれの句にあわせた絵札を作成しました。

完成した「水防かるた」は市で保管し、今後、各地域の防災 教育や防災訓練などでも活用されます。

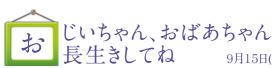


気あるかわまちづくりへ 9月9日(土)

庄内川の歴史・文化を後世に伝え、活気あるかわまちづく りを進めることを目的に「みずとぴぁ観月の夕べ」が、みずと ぴぁ庄内で開催されました。会場には多くの方が訪れ、ス テージイベント等を楽しみました。



ステージの様子



9月15日(金)

市内の75歳以上の方及び結婚50周年の夫婦を 招待し、「第13回清須市敬老会」が春日公民館にお いて開催されました。

式典では、長寿をお祝いし、お祝い品の贈呈や保育園児 による清須音頭などが披露されました。式典後のアトラクション では、歌謡ショーなどが行われました。また、市ボランティア 連絡協議会による「敬愛ふれあいまつり」も行われました。



敬愛ふれあいまつりの様子



須の歴史を知る

9月15日(金)

市の歴史や成立ちにおいて、最も輝いた織田信長公の時代について、 観光事業等に携わる方々から直接学ぶ出前授業「まちの歴史学」が清 洲小学校児童を対象に、清洲城芸能の間で開催されました。

この出前授業は、7月に新川地区の小学校でも開催され、市の歴史に ついて強い関心を持ち、郷土愛を育む心を育てる良い体験となりました。

